

高等学校 英語

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
筆答テストの後にリスニングテストを行いますが、リスニングテストの解答用紙は筆答テスト終了後に配付します。
- 2 大問①～大問③については、マーク式解答用紙に、大問④、大問⑤については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に名前を記入し、受験番号を次の〔記入例〕に従って、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。※1
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。※2

〔マーク式解答用紙記入例〕 ※1

解 答 用 紙		名 前		教育 花子		■								
受験番号		A		B		C		D		E		F		
9		8		7		6		5		0				
A	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	●					●
B	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	●	⑨	⑩				●
C	①	②	③	④	⑤	⑥	●	⑧	⑨	⑩				●
D	①	②	③	④	⑤	●	⑦	⑧	⑨	⑩				●
E	①	②	③	④	●	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩				●
F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	●				●

〔記述式解答用紙受験番号記入例〕 ※2

受験番号	9 8 7 6 5 0
------	-------------

- 4 大問①～大問③については、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の右にある数字のうち一つを次の〔解答例〕のように黒くぬりつぶしてください。機械が判断できず回答が無効となる場合がありますので、マークは HB、B の鉛筆 で濃く確実にぬりつぶしてください。また、受験番号等の記入ミス等、不正確な記入をした場合は解答用紙が無効になることもありますので、正確に記入してください。間違えてぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。なお、問題で指示している解答番号の数と、解答用紙に印字されている解答番号の数は同じとは限りません。指示された解答番号以外の箇所を記入しても採点されませんのでご注意ください。

〔解答例〕 ① 日本の首都はどこか。①～⑤から一つ選べ。解答番号は

① 京都 ② 奈良 ③ 東京 ④ 名古屋 ⑤ 大阪

この場合、正答は「③ 東京」なので、解答用紙の解答番号 の

右横に並んでいる③を黒くぬりつぶせばよいのです。

<input type="text" value="2"/>	①	②	●	④	⑤
--------------------------------	---	---	---	---	---

- 5 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 次の(1)～(8)の各英文には、①～④の下線が付してある。これらの語のなかで誤りがあるものを一つ、それぞれ番号で答えよ。

- (1) 著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。
出典：Colleen Sell “A CUP OF COMFORT Classic Edition” (adamsmedia)
79ページ8行目から12行目まで

解答番号は

- (2) 著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。
出典：Colleen Sell “A CUP OF COMFORT Classic Edition” (adamsmedia)
80ページ21行目から25行目まで

解答番号は

- (3) 著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。
出典：Colleen Sell “A CUP OF COMFORT Classic Edition” (adamsmedia)
145ページ8行目から14行目まで

解答番号は

- (4) 著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。
出典：Colleen Sell “A CUP OF COMFORT Classic Edition” (adamsmedia)
148ページ12行目から17行目まで

解答番号は

Colleen Sell, “A CUP OF COMFORT Classic Edition”

- (5) 著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。
出典：HAL URBAN “Life’s Greatest Lessons 20 THINGS THAT MATTER”
(A FIRESIDE BOOK Simon & Schuster New York)
22ページ25行目から31行目まで

解答番号は

- (6) 著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。
出典：HAL URBAN “Life’s Greatest Lessons 20 THINGS THAT MATTER”
(A FIRESIDE BOOK Simon & Schuster New York)
22ページ9行目から14行目まで

解答番号は

- (7) 著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。
出典：HAL URBAN “Life’s Greatest Lessons 20 THINGS THAT MATTER”
(A FIRESIDE BOOK Simon & Schuster New York)
31ページ10行目から16行目まで

解答番号は

- (8) 著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。
出典：HAL URBAN “Life’s Greatest Lessons 20 THINGS THAT MATTER”
(A FIRESIDE BOOK Simon & Schuster New York)
32ページ6行目から11行目まで

解答番号は

HAL URBAN, “Life’s Greatest Lessons, 20 Things That Matter”

2 次の英文を読み、(1)～(4)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：VOA (Voice of America) (July 26, 2015)

“Why Do Mosquitoes Choose to Bite You?”

(<http://learningenglish.voanews.com/a/mosquitoes-choose-to-bite-you/2873846.html>)

VOA Learning English (July 26, 2015)

(注) Dengue：デング熱 Current Biology：生物学全般を対象とした学術雑誌

(1) 本文中の (A) に入る最も適切な語を、①～④から一つ選べ。

解答番号は

① Indispensably ② Regrettably ③ Consciously ④ Vaguely

(2) 本文中の (B) に入る最も適切な語を、①～④から一つ選べ。

解答番号は

① waste ② specify ③ monopolize ④ dedicate

(3) 本文に述べられている内容に対する、1～3の問いの答えとして最も適切なものを、①～④から一つずつ選べ。

1. According to the passage, what did the scientists of Prof. Dickinson's team do to study what attracted mosquitoes? 解答番号は

- ① They placed dark colored walls in a wind tunnel with mosquitoes.
- ② They used plumes of carbon dioxide to see if mosquitoes and fruit flies would like it.
- ③ They released plumes of carbon dioxide in a wind tunnel.
- ④ They tested various odors on the mosquitoes in a wind tunnel.

2. According to the passage, what did the scientists of Prof. Dickinson's team ascertain about the senses mosquitoes use? 解答番号は

- ① Mosquitoes used all five senses to find their prey.
- ② Mosquitoes seemed to use their sense of direction most.
- ③ Mosquitoes mostly relied on their sense of sight to find us.
- ④ Mosquitoes relied on their sense of smell before using their sight to find prey.

3. According to the passage, what is Matt DeGennaro's idea to keep mosquitoes away from us? 解答番号は

- ① It is to change the genes of the mosquitoes to take away their sense of touch.
- ② It is to make a perfume which affects their sense organs.
- ③ It is to reduce the amount of carbon dioxide from human bodies.
- ④ It is to discover the places where mosquitoes breed and destroy their nests.

(4) 次の①～④の英文を読み、本文に述べられている内容と合うものを一つ選べ。

解答番号は

- ① Over one million people in the world lose their lives every year because of the serious diseases which are spread by some mosquitoes.
- ② Prof. Dickinson's team did research on fruit flies to understand how they rely on their sense of smell to look for food.
- ③ Prof. Dickinson says it's very difficult to fool mosquitoes even for a short time because they can change their strategy easily.
- ④ According to Matt DeGennaro's study, one day, we will not get itchy even if we get bit by mosquitoes.

3 次の英文を読み、(1)～(4)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：Barry Schwartz “More Isn’t Always Better” (Harvard Business Review)
(<https://hbr.org/2006/06/more-isnt-always-better>)

Barry Schwartz, “More Isn’t Always Better”

(注) marginal utility：限界効用

(ある財を新たに1単位だけ消費した際に、その追加的消費に伴う満足度の増加分)

marginal benefit：限界利益 (製品を追加的に1単位販売した場合に獲得される利益を表す)

(1) 本文中の (ア) ~ (ウ) に入る語の組み合わせとして正しいものを、①~④から一つ選べ。 解答番号は

- ① ア more イ more ウ less ② ア less イ more ウ less
③ ア less イ less ウ more ④ ア more イ less ウ more

(2) 本文の内容について、1~3の英文の空欄に入れるのに最も適しているものを、①~④から一つずつ選べ。

1. According to Iyengar and Lepper’s study, more people tended to buy jam ().

- ① when they saw a display table at an upscale food market
② when they received a coupon for \$1 off of any jam
③ when there were large varieties of jam they could choose from
④ when there were fewer kinds of jam on display

解答番号は

2. The word paralysis is closest in meaning to ().

- ① a state of an inability to act
② an eagerness to do something
③ a feeling of fulfillment
④ a satisfactory result

解答番号は

3. Psychology and business have assumed that ().

- ① choice tends to give people a sense of well-being
- ② choice is tied with autonomy but it doesn't lead to well-being
- ③ choice and well-being have both benefits and losses
- ④ choice doesn't have a good effect in psychology but does in business in terms of well-being

解答番号は

(3) 本文中の (A) に入る最も適切な語を①～④から一つ選べ。

解答番号は

- ① abundant
- ② negligible
- ③ significant
- ④ deductible

(4) 本文中の (B) に入る最も適切な語を①～④から一つ選べ。

解答番号は

- ① challenge
- ② expectation
- ③ outcome
- ④ satisfaction

- 4 次は2004年に出版された本の一部で、世界言語としての英語を母語とする人口が約4億人であるという内容に続く部分である。これを読み、(1)～(6)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：DAVID CRYSTAL “The Language Revolution” (Polity)
21ページから23ページまで

David Crystal, “The Language Revolution”

(1) 本文中の (①) に共通して入る前置詞を書け。

(2) 次の英文を入れるのに最も適切な場所を、本文中の《A》～《C》から一つ選び、記号で答えよ。

But for the foreseeable future, it is unlikely that another language is going to replace English in its global role.

(3) 本文中の (②) が、「機能的な道具としてのその言語の価値は広く受け入れられている」という意味になるように、英語を書け。

(4) 本文中の下線部③の意味が通るように、[] 内の語句を並べかえよ。

(5) 本文中の (④) (⑤) (⑦) に入る関係詞を、それぞれ一語ずつ書け。

(6) 本文中の下線部⑥の内容を40～50字の日本語で書け。

5 「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策」（平成23年6月30日 外国語能力の向上に関する検討会）において、各学校が学習指導要領に基づき、生徒に求められる英語力を達成するための学習到達目標を「CAN-DOリスト」の形で具体的に設定・公表することが望まれている。

そこで、ある高等学校において、「外国語表現の能力」のうち「書くこと」における卒業時の学習到達目標を、次のように設定したとする。

身近な話題に関して説明をし、自分の意見を、つなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある段落をひとつ書くことができる。

あなたなら高等学校第1学年及び第2学年でそれぞれ「書くこと」において、どのような目標を設定し、どのような活動を行うか120語以上の英語で書きなさい。